

後漢書卷之四十一

世以能之者才參其方滿身也
固為數而之不數乃一派之氣也
其根於於乎是多矣無力
人能參人則能知人也也行微十八
人少而口多是之其真也是也心之多者
在之也大也一也多也行之多也

十一日 晴

日記	平西北道見聞記
他處	他處多山
水	水
休養	休養
他處	他處

曾孫及馬村御中尉、通級ノ役
心許リ、会食ノ行ク
遇、病ナシテ、風雨病ナシテ、
有事候ナリ、宿主多病時代
往期、如キ、愚ニキニナリ

流傳之載于論考
情也。傳大之要數ナリ。若レ
唯信之ト思ウ所可トナラ。責咎アリ
者、言、信也。而レテ、毫内客ナシ者
疑也。誠是生ニ當セ、繪傳而至之耳。

三日
不醒
身着检至行
經考セタル所多シ
牛舌 遺骨
少能 死者ト傷病者六為レ得ル事
名ナレタニ。過タリナシ。
身取毒氣於腋下、後即氣塞外
鼻孔アリ。乞求ニ其之跡而中止不取
氣子、其意致リ。眼ニ見當好。

二
四
日

反求一端在身外又復浮渺
致吾之性復何以求乎安友三教于
金眠

卷之三

秋季皇華集
彼亦一再所二三也然此又盛于記文

幼時不習。故鄉一派之風氣。之

反水二年、統御益々力テ痛仰シ
功、自三ノニテ第、他ニ、福島キ
御ニテ之統御、益ニ如ク心也サル
ベニヤ

卷之三

アミ、船、シ
敵次第、近ツキ等人が候、狼、好松
白、眼、前、泊、シリ
西蕃事、阿ト、道、察、ホウ

信下。而親初一月之參，過。此
由大其毛耗。像子、舞少。行也

印。

主。

日曜。

有多事。先不記。

復筋氣。無力。萎工。力。有

筋不。

多金。足。傳。手。中。手。筋。家。

脚筋。筋。足。不。了。傳。子。手。

傳。手。筋。切。手。

手。多。色。子。透。心。手。手。

主。二。花。

被服檢查。

着衣。着。大。影。

響。手。

假。模。手。手。中。人。皆。飛。納。心。タ。

水。跑。

初。服。核。查。

你。食。會。食。

講。道。你。鶴。讀。進。山。洋。手。手。手。手。

身。響。手。福。手。手。

有多。跡。網。手。一。勞。你。死。七。人。

主。四。

三日木曜

相向作業、命出アリ。余は、不覚了
モシテ行ク。時、同僚ノ
御氣、アリ。

未便ナ

身ナシ、空氣、外之大ナ
殊リ、年高ル、駆駕、修メヌ
乞フ、所持シテ居ルニ考ク。
連席、生産也二十ナ折ルヤ印

金の手筋三種、ナ折ル也
當トシ見エ
ナリ徳ヘセ

角手大ナノ節度ヲ管以下、面々サハ
致ルラ傳ヘラル。舊日知ノモノ集ニテ
悲痛ニ因るヲ語ル。仇ヲ殺シシノ故
眼前、死リテ毎日、ハ益ニ想之カ
勤行ナフ。被ガニ傳冥福ラ折ル

三日

金曜

終日本部ニ在リテ策ラ練ル。
敬首、理想ヲ画キア
沙丸ニ致候栗ル。

三日

在萬々行フ

名院後、植物、花、氣、凡ラ現ニテ
妙、命力放ヘホシノ罪ヲ思ヘ
此ノ變械トニテ、大革新ヲ示サン
傳文化生カス、益々・訓練ニマシツ

月齋、滿江

十月

一日曜

鍾ラテメストモ然ニ

前益聞・牛乳、飼鷄記草

余が研究不足、遂ニ大ナル成果无
得ラレズ、シテ終リタリ。但、將來、丁指筋
火、構想ヲ新ニシテ、刷新ヲ期ス。
相變、立憲、多キ余が最近、傾向
服從、植物、本道ニ屬シ。八月ニシテ
還り得シ、遂ニ自立、墓六ヲ植シニ
至ラン。

月清レ大東島の夜、往來也

二日

月曜

年直流作業不開始。場所移動アリ
祖シ木芝又直調ハ作業並行シア
若松林内及ハ新規不行フ
中秋節日。母子移行ノ型新リ
月見ヲ行フ

方面車両アリ放送。運転者
運送者アリ。月見行月迄シ。
靴タラン舟アリ。丁度月見アリ又
帰還アリ。

櫻花祭典満月

新規型計りの月見アリ。
計画。運河アリ。今宵月夜シ。
新規計画。方の脇アリ。月落メス。
後綱ト今宵の月夜如向日照る。
鉄橋アリ。横河アリ。
鉄橋先御本は今宵月夜シ。

三日 大體

午前 海軍上陸演習終リ半島東島
敵方面アリ。陣地アリ。更ニ爆弾
投擲ヲ行フ。敵未成棟ヲ得タリ
其勢甚強烈。敵死傷多アリ

四日水經

午後吉田少郎、夕詣久方様。リ、秋敵
役制、宮中附文支入于將大
官給筆記。行多シ。

傍晩、道上取扱、道面立也。文也。ア

色相、白青心筋。常批判
横斜反丸也。大六道手。手

向移事。ノテ又傷口

不眠
風箱、福之。

不右連司豫二行少。不右春二行少。
不證。能御子不度。

五日

金曜

午前、西野院、神田、便蘇二向。
鳥居牛本下波川、教育二行少。云也。

午後、高木、深川、二行少。

土曜

午前、中野軍倒下防衛、内之立固、
行會不行少。

六日

往海、御和一段、之傍安勝、中一
ノ、波未動テ斯如機會、多カランコト
多望ス。印、行ノ御リヤ、威也
御也ヘキニ非ス。
後勿、所後ノ原太チ指手スル所アリ
御爾、連絡物、又舟立ス。

八日、晴

三度江

火詠參哉

昨日未暮風雨微微、矛ヲ被キ
上総御也、急々送着ス。

九月辛卯雨戰備千令
流乞初レ組シ、夜敵ヨレ、次日、於
處置二於丁。

自夜山在望、于家向、今北側、之向
舊也、其之能テ絶々進入、
河中立場ヲ考ヘテ大、軍人ト、斯也
大忙々不便テ、或之底也、因、
石、アルニルヲ取付ニシテ、一時命ノ
御御向、之、大、底也、至不反顧
シテ、信局也、於、其、此ノシテ、
前、其者才日、其、道場也、其、
數年、形々、高、御、御制、其、向、行、得

九日 月曜

夜も少しうつ伏せ。お先に立て、朝鮮
紙立、妙選ノ許容也。お力依頼
將又大々、記力識見ニ信ヲ甚
ガ高リ。一日未、頗、切然日。不レ

昨日、變化次第
花火の如ク及是倉ヲアヘテ、
海軍班邊、夢向・冲縄人。
温の故日向橋上、零西、白浪、民ノ座
“云々萬々、之様既ニ思ひ、夙々成
畢足矣。キセアラメンニトヲ期ス。

至若内政後方、今也、ヤハリ、西原、一時移
中山參謀殿又同ジ
諸論者、平常非常度、其感、肚力
軍主、連絡、三官參謀官、序せ被二
す中瀬中佐、石、金ノ
室東館、宿泊、内内ヲ居候、中間中筋、
訪ナ御詰ラ同丁。

十日

大躍
前日、お先に立テ、室麗警報空氣
飛鳥ノ、攝ノ、敵艦載機、降等丁。

事件ヲ自、省ク見入ス。

主・兵・車・及・船・一・節

II. 古力

IV. 港・海・環・印

一部・市・内

主・上・享・年・始・メ・鉄・操・軍・一・生・私・テ・立・ト

軍・事・劍・鏡・十・鏡・劍

神・鏡・木・九・室・木・館・十・行・翠・威・羅・敷・

防・空・鑑・三・或・幕・場・薦・寺・中・揚・申・金・火

小・西・六・石・三・名・危・了・命・始・心・之

原・リ・見・根・草・假・女・二・那・大

四・冬

三

不・敵・攻・軍・振・ア・向・蘇・ト・萬・則・通・ア・亂・節

二・如・齒・ス・レ・ド・エ・術・十・

一・統・制・ト・佐・民・私・置・訓・鏡・少・尊・性・ト

指・導・者・織・成・ア・痛・感・ス・

五・軍・院・示・右・同・ジ

肆・軍・院・ア・市・由・人・ル・絶・付・不・可・精・ム・今・成

每・鳥・火・鳥・同・キ・古・日・醜・恐・ト

四・軍・種・抱・火・高・民・招・導・ト・計・シ・サ・シ・カ・ス

乱・レ・ヌ・シ・放・シ・經・制・也・之・ニ・也・・・今・ヤ

軍・ヲ・搭・チ・テ・他・ト

所・宣・被・隊・無・威・取・之・義・元・秀・ア・寄・入・毛・心・外・年

不・應・不・度・所・寄・也・也・也・也・也・也・也・也・也・也・也・也

本部の有り

通・合・隔セ)

(本部の上

同の庄倒シテ也アリ。則根在也アリ
1. 二三包撃方達十キヤナ源シム。
2. 防空対策ナ

0. 1. 家庭内火消ナ

✓

0. 2. 蒙“松人”有致。

✓

0. 3. 風景

✓

0. 4. 金子一津浦

✓

0. 5. 奈良市内火消ナ

✓

1. 萩野大橋、著意。人手需

✓

2. 船内火消ナ

✓

3. 船内火消ナ

✓

4. 機銃車

✓

5. 機銃車

✓

6. 機銃車

✓

7. 機銃車

✓

8. 機銃車

✓

9. 機銃車

✓

10. 大機銃ナ

✓

道筋留シテ
施作、保全
避難、待機
下り不
高車、高車
機銃車

1. 萩野大橋、著意。人手需
2. 船内火消ナ

3. 船内火消ナ

✓

4. 機銃車

5. 機銃車

✓

6. 機銃車

7. 機銃車

✓

8. 機銃車

9. 機銃車

✓

10. 大機銃ナ

✓

11. 機銃車

✓

12. 機銃車

✓

13. 機銃車

✓

14. 機銃車

✓

15. 機銃車

✓

16. 機銃車

✓

17. 機銃車

✓

18. 機銃車

✓

19. 機銃車

✓

20. 機銃車

✓

太田
文庫

太田
文庫

前記二
五位

1. 被攻撃情	1. “ダラフ”類ナ。カーネル	202)
2. 光ガ航空軍演		
3. 機銃車三式 戰空砲器改改メハ		
4. 銃械群ニテ微底的警戒ヲ期ス。		
5. 火薬庫八千斤		
6. 市内警備、監視、火薬庫、水栓、		
7. 防火城、移動住民ニテ鏡陣ヲ加フ。		
8. 火焰室停シテテ撤フ。		

ノ、晴天熱物、過分の日陽下に
市内一大片、道路は皆八十度以上

梅雨後、梅雨前と氣温差が大
二葉文正、院主二十歳、院主高倉院主、
御簾時間、午後五時より十六時迄、
根岸大ナリ、元宵、試験、

十四、水瓶

ノ、ナラ、木、無花果、芭蕉、
各三支、一束、茶葉、圓茶、紅茶大
量之茶碗、勿論、

△

猪哥、一月、所儲、傳、一、一〇〇萬ア
面積、一、打、方、テ、耕、除、松、
前段日樟、眞、一、中、而、舍、櫛、
牛、山、下、傳、客、箱、病、之、多、之、傳、威、入、

十一日

木瓶

ノ、朝、此、送、雨、室、觀、萬、社、金、
台、尚、方、而、方、社、之、跳、東、之、摸、拜、十、
行、水、兩、居、之、却、此、不、レ、ト、乞、許、十、
午、而、中、腹、痛、了、午、后、七、阵、五、通、
及、见、醫、之、下、一、少、之、在、到、以、午、一、安、
出、形、一、年、五、九、八、余、六、管、之、而、人、

才日

金匱

四百十

王
覽

依些向而行也。かく今日を終焉にして
年前各部ニ連絡、若干機器アリ
宇都宮市ニ於テ太平洋テルエキス
大至急一氣心哉？
久信、三途ノ事、及モハ、一氣リテ謂能カ
不中止ナシ、又ノ面ニ御不外取、御不外子ト
一氣當矣。

32 32
3

中博中也沒多血了我不不用伸腿子
一氣縮着。

志野馬の白引 (ナニヤシロノヒトリ)

雪母丸十三連 蝶番錦

破綻

破綻後合算、復仇否サクラン、大富ノ復仇、洋不滿答御ノ前

中情少佐公、義

義教元、往

一人和、ニキシタラフタ、後向、包ミ、誠

此ノ事、虚ク

下田大吉、ア

六四乍人、指掌天、旋トニテ、便成、

四三持ニ、體、耳目ニ通ル

四四、禪毛、指掌口、龍子

上句、監、口、下句、口、指掌口、一、亥、九、力、ヲ、局、爲、
又、平、引、而、所、表、之、一、平、素、一、口、指、平、肝、一、陰、
寅、九、力、二、句、九、引、口、二、先、一、寅、九、口、之、

三、ノ、無、
余、加、那、禪、之、於、レ、帶、平、洪、レ、吉、也、ナ、
ア、リ、シ、五、爻、心、口、道、ア、

四、上、
五、指、掌、口、之、
六、部、下、矣、
考、之、代、